



イギリス政治の金と色

やました
山下 正

ただし
イギリス在住・翻訳家

どこの国でも政治にまつわる金と色は、なかなか縁切りが難しいようです。きょうは、イギリスで最近話題になっているこの二つのテーマをご報告しましょう。どちらもホンネとタテマエが色濃くでてくるテーマです。

イギリスではプロフューモ事件（1960年初頭、プロフューモ大臣が旧ソ連のスパイ売春婦と関係をもったことが発覚した事件）という有名なスキャンダルがありました。近年は政治に大きなインパクトを与える「色」の問題は表面化していませんでした。

ところが最近、ひさしぶり（！）に、報道界をにぎわせたのは、保守党（政権党）のウィリアム・ヘグ外務大臣（49歳）にまつわる「ゲイ疑惑」事件です。若い男性秘書（25歳）との同性愛関係の疑いを暴露されたのです。同氏は出張中のホテルでこの男性秘書と同じ部屋に投宿しました。本人は投宿した事実は認めています。あくまでも仕事上の打ち合せであって、それ以上のことはなかったと全面否定しました。マスコミはヘグ大臣が若い秘書と一緒に楽しそうにジョギングしている写真を掲載し、「いかにもそれらしい」雰囲気紙面作りをしています。通常はこうした扇情的な記事からは距離をおく高級紙ガーディアンまでもがトップページの三分の一をぶち抜きで報

じるしまつ。本人は「何もやましいことはない（よく聞くセリフです）」と主張。

大臣の補佐官は2名というきまりを無視して、若い政治経験もないハンサムな男性を特別秘書にしたのはなんやらあやしい、とマスコミ。でも本人は「ホテル代は自分で払ったんだから」と主張。そして「妻は流産したこともあるんだ」とプライベートなことまで公表。このお涙頂戴戦法が功を奏したのか「そこまで個人のあら捜しをするのもなんだかな〜」というマスコミの反省記事が出て一挙に尻すぼみとなりました。

何かにつけて保守的なイギリスですが、ことこの問題ではわりあい寛容な社会です。なにしろ外国人がビザを申請するに際して、配偶者ビザの項目にパートナービザというものがあって、同性を配偶者扱いしてくれるのです。しかしホンネとタテマエが違うのは世の常。

「差別はよくない」というタテマエから同性婚を法的な差別はしないものの、ホンネでは特別視しなくなったとまでは言えません。アメリカのように、オープンにするかしないかで、対応が両極端に分かれるようなことはありません。イギリス人の大多数のホンネは「まあ好き勝手にやれば、いいじゃないか。でも自分はちょっと違うけどね」という程度のスタンスでしょうか。先週のガ



ーディアン紙には、ゲイの社会的受容度調査として、年齢、地域、教育度、人種などこまかい調査結果などをレポートしています。イギリスでは約1%強がゲイだそうです。差別者として糾弾されたくないから、個人の嗜好の問題へ逃げているともいえます。ヘーグ事件はこうしたホンネとタテマエの落差という社会的雰囲気をはしなくも現したものです。もしこれが日本だったら、どのような扱いになったでしょうか。事件から2ヶ月ほどたちますが、ヘーグ大臣は何事もなかったように政務に励んでおられますが。

さて、もうひとつの政治とは切っても切れない「金」の話題です。これは昨夏、マスコミをにぎわせて今現在も火種はくすぶっています。国会議員の経費をめぐる問題です。与野党を問わずたくさんの議員が絡んでおり、当時のブラウン首相も俎上にのせられました。英国の国会議員の報酬は1000万円弱で高くはありません。そのかわりに経費を大目に見ることが慣習化しておりました。ここが落とし穴だったんです。はたしてこれが「経費」かと思うようなものまで、ありとあらゆるものを経費名目で請求していたことがバレたわけです。

最近日本の男性政治家が女性用の下着やマンガ

の購入費を経費で落としていたとして問題になりましたが、イギリスも多くの議員が似たようなことをやっていたのです。大きいところでは、ローンが終了した住宅の家賃請求、学生の息子を秘書にしたてて人件費請求。小さいところでは、ポルノの視聴費用、ペットのエサ代、トイレの便座、庭の置物など。毎日、おもしろおかしく灰色の費用明細をつぎつぎ暴露され、国民はあきれはてました。イギリスの国会議員もセコイんです。ところが厳密な法解釈としては、これらの請求は真っ黒というわけでもありません。事務経費の定義があいまいなうえ、国会事務当局がハンコを押しているからです。それでも議員たちは請求内容に胸をはれるものばかりでないことを自覚しているようで、費用を自主返却するはめになりました。しかしさすがにイギリス人はしぶとい。党からの返金命令にたいして、法的に問題ないのだから自分は返金しないと法廷で争うと息巻く議員もおります。日本だったらここまで開き直る議員はいないでしょう。文化の違いといえましょう。タテマエを人質にして抵抗するというコンジョーも見上げたものです。